

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
4年	<p>活動内容に意欲をもち、楽しみながら表現に取り組んでいる。一方で、技術面、発想面で個人差があり、個別に支援が必要な児童もいる。児童の個性を伸ばすため、色々な題材を準備し、表現の幅をもたせるように指導していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味をもって、主体的に活動に取り組めるように教材研究を行い、毎回めあてを確認する。 ・個別の声かけに力を入れ、作品に対する子どもの思いが深まるよう、寄り添った声かけを行う。 ・環境設定に気を配りながら、相互鑑賞の機会を多く設定し、自分や友人の作品のよさや面白さにより深く迫れるように指導を行っていく。 ・用具の安全な管理を行うとともに基本的な技能を確実に身に付けさせる。
5年	<p>新しい材料や技法に興味・関心をもって意欲的に活動に取り組んでいる。また、既習事項を生かして自分らしい工夫を作品に取り入れ、個性を生かしながら表現に取り組んでいる。</p> <p>一部で発想がなかなか出ずに主体的に活動できない特性のある児童もいるので個別に支援をしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力を伸ばしていけるよう、題材設定を工夫し、児童が主体的に取り組めるように教材研究を行っていく。 ・材料や用具などからのアプローチと、児童の心に響く導入を行うなどの内面からのアプローチの両面から、作品に対する子どもの思いが深まるよう、個々に合わせた支援を行っていく。 ・学級担任とも連携をとり、児童の発達段階や個性を見極めて支援をしていく。 ・用具の安全な管理を行うとともに基本的な技能を確実に身に付けさせる。
6年	<p>題材に興味を持って既習事項を生かし、主体的に取り組むことができている。一方でだんだんに図工室に慣れてきており片付けや作業をいい加減に行う児童もいるので、安全面やルールをしっかりと確認した上で、一人一人が集中して表現に取り組める環境作りを行っている。一方、表現を広げたり深めたりする活動で、発想が出にくく取り掛かりが遅い場面が一部の児童に見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材設定を工夫し、児童が主体的に意欲をもって取り組めるように教材研究を行っていく。 ・個別の声掛けに力を入れ、一人一人の思いに寄り添って指導をする。 ・用具の安全な管理を行うとともに基本的な技能を確実に身に付けさせる。

